

秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ
わが衣手は 露にぬれつつ

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の
衣干すてふ 天の香具山

あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の
ながながし 夜を ひとりかも寝む